



# なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No.28

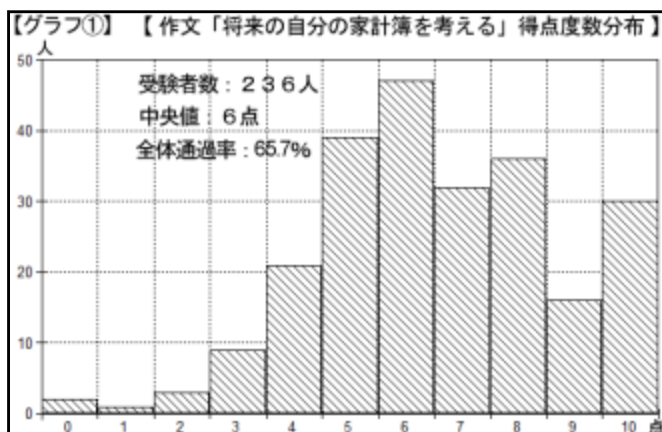
## 課題作文「将来の自分の家計簿を考える」のまとめ

今回の「課題作文」の成績はグラフ

①のようになりました。10点満点を  
獲得した人が学年全体で30人です。

しかし、学年全体の成績が良いわけ  
ではありません。今回の「課題」は、  
自分の日常生活を「家計」に置きかえ  
て考えることができるのと6点以上を獲

得できる内容です。その意味では、中央値が6点というのは、少し物足りない残念な  
結果です。授業で学んだ学習内容を自分の日常生活に当てはめながら考えることと、  
もう少し「自分で調べて」作文への対策をして欲しかったと思います。



### 1 自分の日常生活を「経済的」に見つめ直そう

現代の日本では多くの方は働いて得る賃金(給料のこと)で暮らしています。君たち  
も、およそ10年後にはひとり立ちしなければならないでしょう。その時には、社会の  
生産活動に参加して働き、自分の所得で生計を立てなければなりません。中学2年生  
になれば、その準備をそろそろ始めていくべきでしょう。

さて、生活してゆくのに必要な費用のことを「生活費」と言います。自分の暮らし  
の将来像を考えるためには、まず、「生活費」の内容を理解しておかなければなりま  
せん。言い換えると、生活はどのようなことにお金を支払って成り立っているのかを  
理解しておく必要があります。それは、まさに「生きる力」のための学習内容です。

今後の学習内容との関係で言えば、「生活費」の実態を理解しておくことが、賃金  
など労働条件、社会保障の意味を分かるための基礎になります。これを機会に、ぜひ、  
自分の日常の暮らしを「お金」で計算してみて「経済的」に見直してください。

### 2 作文の課題と採点基準

「作文課題」は、表2の27歳の単身世帯の全国平均の家計簿を参考にして、表1に  
自分の将来の家計費を書き込むことと、それぞれの出費の理由を説明することです。

出費する金額だけを文章にしても加点しませんでした。金額は、すでに表1の中で答えているからです。金額を算定する根拠を説明する必要がありました。

答案の作文を採点するに当たり、当初は加点の前提条件として、収支が一致していることにしていましたが、半数近くの人が計算間違いをしていましたので、採点基準に次のように変更しました。

次の①～③を必ず触れなければならぬ論点とする(満点の前提条件、各2点)。その上で、④以下の各論点の説明が具体的に合理的ならば1論点につき2点を加点する。ただし、10点を上限とする。

- ① 「収入」と「支出＋その他(預貯金など)」が一致すること(33万円)。
- ② 「お祝い金」を「支出」するのか、しないのかについて説明していること。
- ③ 被服及び履き物について、結婚式の宴に出席するための衣服をどのように準備するのかについて検討をして、どれくらい出費するのか、結論とその理由について説明している。
- ④ 猛暑の夏を乗り切ることを踏まえて、光熱・水道費の支出の理由について説明していること。特にエアコンの電気料金などの検討が重要。

- ⑤ 教養娯楽費について、10日間の夏休みの過ごし方を取り上げて、自分の趣味などとの関連で検討し、どれくらい出費するのか、結論とその理由について説明している。

Ⅶ 次の課題文をよく読んで、あなたの考えることを作文にしないさい。

あなたは、27歳になっていて、阪神間で一人暮らしをしていますと仮定します。ある企業に勤めています。生活費はすべて自分が働いて稼いだお金でやりくりしています。この夏も猛暑が続いています。

そんな年の7月の末に、親友から9月の秋分の日に結婚式を挙げるので、その祝いの宴にぜひ出席して欲しいと招待状が届きました。親友とは中学生の時から付き合いです。これからも一生付き合っていきたいと思います。

周囲の人に聞くと、宴の会場の食事代などの費用はとても高く、一人2万円はするそうです。お祝い金も用意する必要があります。普段、ラフな服装で暮らしているし、仕事に着ている服装で出席することも出来ませんので、結婚式の祝いの宴に着ていくような服也没有ありません。

職場では10日間の夏休みもあります。職場の人の中には、夏休みに海外旅行に行くと言う人もいます。タレントのライブに出かけたいと言っている人もいます。旅行代などは教養娯楽費です。本やゲーム・ソフトを買ったり、映画を見たりすることなども教養娯楽費です。

また、あなたには、これまでにローンで買ったオーディオなどの支払いで、毎月2万円の返済金(借金を返すお金のこと)があります。生命保険にも加入していて、毎月1万円を銀行口座から引き落として支払っています。それに、預貯金を毎月5万円しています。同じ職場の友達なんかは、老人になった年金暮らしの両親に毎月2万円を仕送りしているそうです。

あなたの収入は、27歳の人の全国平均の月額33万円だとします。こんな時、あなたなら、8月と9月のお金を使う計画をどのようにたてますか(2か月の平均で考えます)。あなたの考える支出の計画を【表1】に金額を入れて、お金の使い道の理由を説明してください。

なお、一人暮らしの27歳の人の平均的な家計は【表2】のようになっています。金額は千円単位で考えてください。(例 住居費 60,000円など)

住居費は、全国平均では34,768円ですが、阪神間ではワンルームマンションでも1か月5万円以上はします(トイレ・風呂・エアコンなどが装備されている)。税金と社会保険料などは54,000円として考えてください。「家具・家事用品費」と「保健医療費」をあわせて7,000円出費するとしておきます。結婚式の「お祝い金」は「その他の消費支出」にあてはまります。

| 【表1】             |            |          | 【表2 27歳の単身世帯1か月間の家計】 |            |          |
|------------------|------------|----------|----------------------|------------|----------|
| 項 目              |            | 金 額      | 項 目                  |            | 金 額      |
| 収入               |            | 330,000円 | 収入                   |            | 330,385円 |
| 実 費 支 出          | 食料         | 円        | 実 費 支 出              | 食料         | 41,933円  |
|                  | 住居         | 円        |                      | 住居         | 34,768円  |
|                  | 光熱・水道      | 円        |                      | 光熱・水道      | 7,697円   |
|                  | 家具・家事用品    | 3,000円   |                      | 家具・家事用品    | 3,267円   |
|                  | 被服および履き物   | 円        |                      | 被服および履き物   | 7,842円   |
|                  | 保健医療       | 4,000円   |                      | 保健医療       | 3,828円   |
|                  | 交通・通信      | 円        |                      | 交通・通信      | 26,989円  |
|                  | 教養娯楽       | 円        |                      | 教養娯楽       | 20,420円  |
|                  | その他の消費支出   | 円        |                      | その他の消費支出   | 18,160円  |
|                  | 税金、社会保険料など | 54,000円  |                      | 税金、社会保険料など | 53,781円  |
| その他(預貯金、借入金返済など) |            | 円        | その他(預貯金、借入金返済など)     |            | 111,700円 |

※資料出所：政府統計「家計調査年報」平成30年。  
勤労者単身世帯の平均を参考にした。

- ⑥ 食料費を健康管理や体力維持などの観点から考え、どれくらい出費するのか、結論とその理由について説明している。
- ⑦ 住居費を職場との距離や通勤時間あるいは安全性や住環境の快適性などの観点からについて、どれくらい出費するのか、結論とその理由について説明している。
- ⑧ 交通・通信費をスマートフォンやインターネット接続の利用について考えて、どれくらい出費するのか、結論とその理由について説明していること。
- ⑨ 預貯金を将来の生活設計との関係について具体的に検討していることを説明している。

### 3 作文を書くために、どう考えれば良かったのか

今回の作文を書くためには、何に気を付ければ良かったのか、ポイントを説明しておきます。なお、他の考え方もできますから、ここで示すのはあくまでも参考例です。

#### ① 使えるお金の合計を計算する

まず、収入と支出＋貯蓄は一致することが大原則です。収入は330,000円で決まっています。そのため、今回の使えるお金の総額は、269,000円になります。

計算式で示すと、 $330,000円 - 61,000 = 269,000円$  です。

その理由を説明すると、支出のうち、税金、社会保険料など(54,000円)は給料から天引き(引き去られていること)されています。また、今回の課題では、家具・家用品費(3,000円)と保健医療費(4,000円)はあらかじめ決まっています。これらを合計すると、61,000円です。

したがって、考えなければならない消費支出と貯蓄の金額は、収入から予め決定している支出分を差し引いた金額(269,000円)になります。

#### ② 何にどれ位のお金を使うのか、優先順位を考える

次に、消費支出と貯蓄にどれ位のお金をまわすのか、日常生活をおくる上で何が一番大切なのか、その優先順位を考えます。検討しなければならない主な支出は、食料費、住居費、光熱・水道費、被服・履き物費、交通・通信費、教養娯楽費です。

人が生きるために最低限度必要な物が衣食住ですが、その内で優先順位を考える際に参考になるのは、数日の旅行をする時に必要な物です。どこにいても必要な物、それは食料です。ですから、最優先されるべきは、健康に生きるための食料です。

次に、裸<sup>はだか</sup>でいる訳にはいきませんから、2番目は衣服ということになるでしょう。今回は、友人の結婚式の宴に着ていく衣服代をどうするか検討する必要があります。

住居費は3番目になります。旅行の時の宿泊施設はテントでもいいですが、毎日を

過ごす際には安全な建物が必要です。ただし、住居費は月ごとに変更できません。

4番目に、光熱・水道費を考えます。猛暑の夏を健康的に過ごすには、夜間にエアコンを使い熱中症にかかることを防ぐべきです。そう考えると、ある程度の電気料金の増加はしかたがないでしょう。電気料金の節約には限界があります。

そして、人として文化的に生きるためには、5番目に移動手段や知識や情報を得るための手段が必要になります。特に、インターネット接続にかかる費用は、情報化の社会に生きる今日では欠かせない費用だと言えます(交通・通信費)。趣味や娯楽なども疲れを癒やすための潤いも欠かせません(教養娯楽費)。

「その他の支出」には、生活費が<sup>とほ</sup>乏しくなった親への<sup>しおく</sup>仕送りなども含みます。また、将来の生活や突然の出費に<sup>とつぜん</sup>備えてする<sup>そな</sup>貯蓄についても検討することが大切になります。

そして、親友への「お祝い金」を「その他の支出」からどれくらい支出するかを考えます。ここまでの理由をふまえると、食料費と住居費は<sup>ふだん</sup>普段のままにして、自分なら、食料費と住居費以外の支出項目の、どれを、どれくらい節約すれば「お祝い金」と「<sup>うたげ</sup>結婚式の宴に着る服装」を準備できるのかと、考えるのが順当だと思われます。

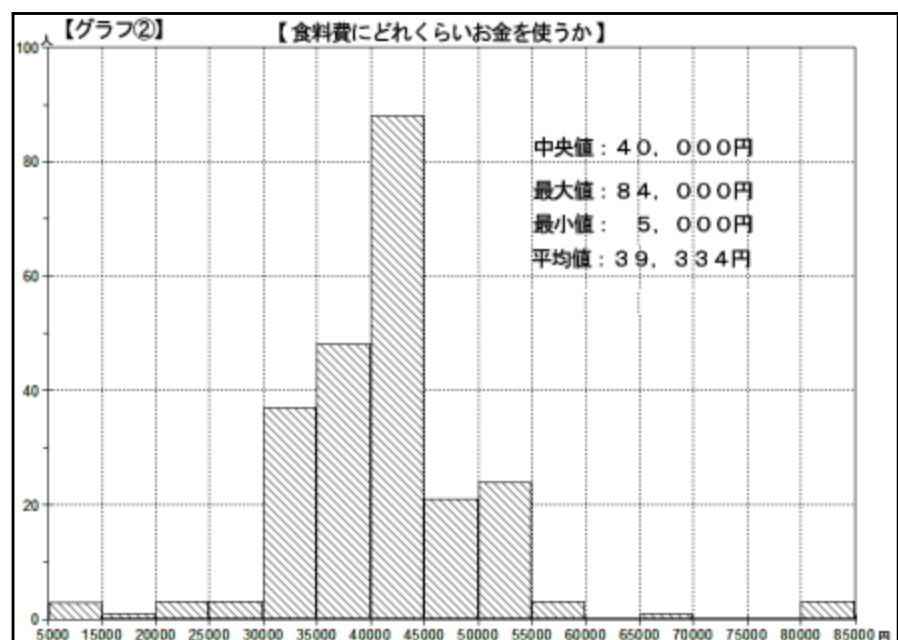
### ③ 食料費にどれ位のお金を使うのか

健康的に生きるために、栄養バランスの取れた食事を<sup>と</sup>欠かさないで摂ることが必要です。そのための食料費は最低限どれ位のお金が必要なのかを考えなければなりません。全国平均の食料費が参考になります。

作文に現れた君たちの食料費はグラフ②のようになります。全国平均の食料費が約42,000円なのに対して、君たちの考えた食料費は、中央値が40,000円で、全国平均よりも低く設定した人が多いことがわかります。

しかし、阪神間の物価は高く、住居費だけでなく食料費も高くなることを予想しておくべきでしょう。この点については、自分が普段の生活でどれくらいの食料費を使っているのか調べておいて欲しかったと思います。

また、男性と女性では食料費が異なることを調べていた人も女子生徒に数人いました。総務省「家計調査」では、働いている27歳の単身者の食料費は、



全国平均で女性が約32,650円、男性が約47,840円になっています(2018年度調査)。

女性の方が食料費が低いことを指摘した女子生徒たちの作文は、この全国平均よりも低い食料費を計画していることで共通していました。彼女たちは、全国平均よりも食料費を低くできる根拠に「自分は自炊する」ことをあげていました。

#### ④ 親友の結婚式にどれ位の準備をするか

「課題作文」のねらいは、普段の生活費と「お祝い金」の両立を考えることでした。「課題作文」では、親友の結婚式に出席するための支出があります。親友の結婚を祝う「お祝い金」は、「交際費」と言い「その他の支出」に分類される出費です。

「お祝い金」の金額にルールがあるわけではありません。この「作文課題」では、参考になるのは「会場費」です。一般的に「会費制」の結婚だと会場費や食事代が会費に含まれています。しかし、「課題作文」の結婚式は「会費制」ではありませんので、招待されている人は会場費や食事代を支払う必要はありません。同じ課題で学習した授業の中で、ヒントとして「会場費や食事代より少ないお祝い金だと、結婚を祝うことにならないですね」と私は話ししました。そのヒントを踏まえて考えていた人は数人でした。とても残念でした。仮に、「お祝い金」に食事代を含むとしても、これは「その他の支出」です。「交際費」として考えることができるからです。

ところで、親友の結婚式に出席するために「無理な計画」を建てようとしていた人の多さが目立ちました。友だちを祝うことは、「無理」をしてすることでしょうか。自分の健康を害するような食料費で生み出した「お祝い金」を、友だちは心地よく受け取れるのでしょうか。もう少し、冷静に考えて欲しい場面でした。

また、服装をどのようにそろえるかという課題には、親から借りるとか、レンタルで安く済ませるという「借りる派」と、今後のことを考えて「買う派」の2つに大別できました。どちらでも良いと思いますが、根拠を書くことが大切でした。

いずれにせよ、「お祝い金」と「衣服代」は、8月と9月の2か月合計で計画すれば良いので、そんなに大きな負担にはならないはずです。「お金が足りない」とパニックになった人の多くは、1か月分の消費支出で考えていました。

#### ⑤ 自炊で生活費はどれ位節約できるのか

食料費をおさえる方法として、男女ともに自炊を考えた人が多くいました。そこで、自炊しながら、働くこととはどのようなことなのか、果たして生活費は節約できるのか、現在、一人暮らしをしている人から、今年の夏の家計簿を教えてもらいました。

次ページで紹介する家計簿は、関西学院大学を卒業したAさんのものです。Aさんは、大阪府内の公立中学校に勤務する24歳の女性教員です。

彼女の2019年の収入は、税や社会保険料が引かれた後、手取りで約23万円です。消費支出合計は146,200円(8月と9月の平均値)で、うち食料費は30,000円になっています。

大阪府内に住んでいるのに、彼女の食料費が少ないのは、朝食と夕食を自炊<sup>じすい</sup>しているからだそうです。食材は1週間分を休日にまとめ買います(5,000円分×4回=20,000円/月)。昼食は給食会社の540円の弁当を食べます(540円×20日=10,800円/月)。外食をするのは友人と出かけた時だけのようです(交際費<sup>けいじよう</sup>として8,000円程度：「その他の消費支出」として計上しています)。

ここで、働きながら自炊をする生活をイメージしてみましょう。仕事をするようになると、中学生の日常生活より、時間的にも体力的にもかなりハードです。労働基準法の定めでも、1日の労働時間は8時間+休憩<sup>きゅうけい</sup>45分になっています。ところが、勤務開始時間よりも前に出勤することが一般的で、職業・職種によっては1日10時間は職場に<sup>じつたい</sup>いることが実態です。それに、通勤時間に往復で1時間以上は取られます。仮に、8時間寝るとすれば、残る時間は5時間ほどになります。その5時間で、朝夕の炊事・食事・食事の後片付け、入浴、掃除、洗濯などをするようになります。教員の場合であれば、それ以外に、授業の準備に数時間使います。中学生の君たちが、自炊して通学することを想像すれば、働く人の日常生活の厳しさが分かります。

Aさんは休日に、まとめ買った食材で1週間分の料理を作り冷凍保存しています。普段は作り置きした料理を電子レンジで解凍・加熱して食べます。新鮮な食材が食べられるのは休日だけです。休日でも自分の自由になる時間はあまりありません。

そして、一人暮らしの場合、仕事の関係で帰宅時間<sup>おそ</sup>が遅くなるなど時間にゆとりがなくなったり、疲れて体力がなくなると夕食を外食で済ますことも多くなります。その場合は、食料費はいやでも増えます。「時間をお金で買う」ことになるのです。

さらに、自炊する場合は、台所用品などの日用品を多く買う必要が出てきますので、家具・家事用品の出費がかなり増えます。Aさんの家具・家事用品費が8,000円と全国平均よりも多いのは、そのような事情が働いていると考えられます。

Aさんはテレビやゲーム機を持っていないので、電気使用量は少ないです。けれども、熱中症を防ぐために8月の夜間だけはエアコンを使い、あとは扇風機<sup>せんふうき</sup>で夏を過ごしました。仕事の準備のために自宅でパソコンを使うし、調理にガスを使うので光熱・水道費をこれ以上減らすことはできません。インターネット接続(5,000円)とスマホ(8,600円)も使いながら通信費は節約しています。教養娯楽費の主なものは書籍代と新聞購読料です。かなり、経済的には節約した生活を実践していると思います。

なお、自炊するための調理技術や栄養に関する基礎知識を、一人暮らしをするまでに身につけておかなければならないことを付記しておきましょう。

| 【Aさんの家計簿(8月と9月の平均値)】 |          | 単位：円    |
|----------------------|----------|---------|
| 収入(税・社会保険料控除後の手取り金額) |          | 229,655 |
| 消費支出                 | 食料費      | 30,000  |
|                      | 住居費      | 33,000  |
|                      | 光熱・水道費   | 6,200   |
|                      | 家具・家事用品費 | 8,000   |
|                      | 被服・履き物費  | 0       |
|                      | 保健医療費    | 0       |
|                      | 交通・通信費   | 20,000  |
|                      | 教養娯楽費    | 14,000  |
|                      | その他の消費支出 | 35,000  |
| 消費支出合計               |          | 146,200 |
| 貯蓄                   |          | 83,455  |

## 4 友達の作品から学ぼう

次に、9点以上の一部の「答案」(17人分)を紹介します。

ここで紹介する作文は、ほぼ全ての支出項目の理由を述べています。その理由の中でも、特に強く印象に残る点と、家計簿に記入された金額に注目して分類しました。この区分が正確なものでないことを<sup>あらかじめ</sup>予めお断りしておきます。

「<sup>げんぶん</sup>原文」のまま紹介していますので、文中の誤字・脱字は<sup>ごじ</sup>修正していません。注意して読んでください。「答案」の下(※<sup>しゅうせい</sup>寸評)は、私(倉橋)のコメントです。

### (1) 健康維持を優先して食費を確保してから家計簿全体を考える作文

A組S.K. 1日の食費が朝食300円、昼食、社内食堂で500円、夕食700円ほど考えて、1日1500円として、30日間で4万5千円。住間は阪神間として、5万円。光熱・水道は平均くらいの7000円とする。そして、被服は結婚式の服を考えて高めに4万円にした。交通・通信は、会社まで自転車で رفتりして安くし、スマホは、今が1万5千円くらいらしいので、この値段にした。教養娯楽は、新聞はスマホで読むとして低くし2000円、その他の支出は、祝い金も入れて3万円。返済金、生命保険、貯金で計8万円にした。自由なお金がほぼ0で自分で働いて生きるってとても大変だと思いました。遊んだりすることは考えられないし、子供なんていたら育てられないと思いました。

(※寸評:食料費については、ていねいに計算していますが、夕食を外食にすると700円で過ごすことは難しいでしょう。それに、被服代を1か月で考えずに、2か月で買うように考えると、1か月分の出費はもう少しおさえることができます。最後の「子供なんていたら育てられない」という表現は説得力があります。少子化の原因を学習したこととリンクさせて考えている作文です。)

| A 組 S.K. さんの計画家計簿 |          |
|-------------------|----------|
| 項目                | 金額       |
| 収入                | 330000 円 |
| 食料                | 45000 円  |
| 住居                | 50000 円  |
| 光熱・水道             | 7000 円   |
| 家具・家事用品           | 3000 円   |
| 被服および履き物          | 40000 円  |
| 保健医療費             | 4000 円   |
| 交通・通信             | 15000 円  |
| 教養娯楽              | 2000 円   |
| その他の消費支出          | 30000 円  |
| 税金、社会保険料など        | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  | 80000 円  |
| 収支計算              | 0 円      |

B組A.K. 8・9月の支出計画のトピックスは友人の結婚の宴です。祝い金に1万円、食事代に2万円と予定して、「その他の消費支出」に4万円をとりました。食費としてはできる限り外食を控え、自炊で節約します。住居費は阪神間のワンルームマンションは高く、女性の一人暮らしなのでセキュリティの制度も考慮して多めにとりました。光熱費はエアコンの冷房は28℃、暖房は20℃までと決めて、節約を心掛けたいです。「被服および履き物」は、結婚式に出席するための服もあるので1万5千円でやりくりします。交通・通信では、車は維持費が高額なため買わずに公共の交通手段を使います。スマートフォンの料金プランを見直して、無料電話、無料メール、webサイトの閲覧には定額のプランを選ぶなど、自分のライフスタイルに合ったものを選択します。「教養娯楽」は全国平均に対して削りませんでした。その他は、生命保険に1万円、ローン返済の2万円、預貯金の5万円で8万円です。月ごとにその都度見直していかなければ、すぐに予算オーバーしてしまうので気を付けなければならないと思いました。

| B 組 A.K. さんの計画家計簿 |          |
|-------------------|----------|
| 項目                | 金額       |
| 収入                | 330000 円 |
| 食料                | 42000 円  |
| 住居                | 60000 円  |
| 光熱・水道             | 10000 円  |
| 家具・家事用品           | 3000 円   |
| 被服および履き物          | 15000 円  |
| 保健医療費             | 4000 円   |
| 交通・通信             | 22000 円  |
| 教養娯楽              | 20000 円  |
| その他の消費支出          | 20000 円  |
| 税金、社会保険料など        | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  | 80000 円  |
| 収支計算              | 0 円      |

(※寸評:この作文は、普段の消費支出と結婚式出席への準備を両立することを視野に入れて計画を立てています。自炊して食料費をおさえ4万2000円としています。常識的な金額でしょう。夏のエアコンや通信費

をおさえる工夫も説明できています。しかし、家計簿の金額と、文章で説明している金額にはズレが生じています。「その他の消費支出」に4万円とると言いながら、2万円しか記入していません。8月と9月の合算で4万円とする意図と解釈すると矛盾はしません。説明文をもう少し工夫するべきでした。）

B組T.H. まず食料は不自由なく食べたいので少し多めに使います。家はそこそこのところとします。光熱水道費は節水しますが、夏は暑くクーラーを使いたいのので多めに設定します。被服は結婚式に行っても問題なさそうなレベルの一番安いやつを買います。交通・通信は歩けるところは歩いて移動することにします。教養娯楽ですが8月、9月は結婚式のせいでお金に余裕が余りないので少しおさえます。本やアイスくらいは買えるレベルに設定しました。その他の消費支出は宴の会場費で2万使いさらにお祝い金として1万円を設定します。残念ですが8月9月は他へお金をほとんど使えないです。その他にはオーディオの2万、保健金の1万、そして預貯金の5万をそのまま設定します。親はまだ60歳になっていないのでまだ働いていると仮定して今回は仕送りをしません。

| B 組 T.H. さんの計画家計簿 |                    |
|-------------------|--------------------|
| 項目                | 金額                 |
| 収入                | 330000 円           |
| 実支出<br>消費支出       | 食料 45000 円         |
|                   | 住居 55000 円         |
|                   | 光熱・水道 11000 円      |
|                   | 家具・家事用品 3000 円     |
|                   | 被服および履き物 15000 円   |
|                   | 保健医療費 4000 円       |
|                   | 交通・通信 25000 円      |
|                   | 教養娯楽 8000 円        |
|                   | その他の消費支出 30000 円   |
|                   | 税金、社会保険料など 54000 円 |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |                    |
| 80000 円           |                    |
| 収支計算              | 0 円                |

(※寸評:「不自由なく食べたいので少し多めに」45,000円の食料費を確保していますが、自炊中心なのか外食中心なのかは不明です。もし、外食を中心にするなら、45,000円でも不足するでしょう。夏の暑さを考えてクーラーの使用を見込んでいることが明確に説明できています。ただ、「アイス」を娯楽としてとらえているように読み取れてしまう文章になっているところがおかしいですね。)

C組M.I. まず、私は食費を少し多めに使う計画を立てた。何故なら、食べることが好きだからだ。それだけでなく、ある程度上質なものを食べていないと、健康被害が出て、医療費を引き上げてしまうことになりかねないからだ。次に、住居だ。住居は、課題文より、「阪神間では1ヵ月5万円以上する」ということが分かるので、53,000円とした。次に光熱費についてだが、「この夏も猛暑が続いている」とあるので、必ず暑さ対策をせねばならない。そこで、私はエアコンではなく扇風機を使って節約しようと思う。調べてみると、扇風機の利用をすると、エアコンを利用してかかるお金の1/10以下のお金で済むらしい。ここでは「一人暮らし」と仮定されているので扇風機で十分暑さはしのげるだろう。次に、被服および履き物についてだ。母に聞くと結婚式に出席する際の礼服は最低でも2万円くらいかかるらしい。次に、交通・通信についてだ。通勤は定期券を買い、通信はWi-Fiの利用でかなりの節約が見込めると思う。次に教養娯楽についてだ。私はロックが好きで、ライブに行きたい。グッズも買いたいし、旅費もかさむので、少し多めにお金をとっておこうと思う。グッズを買うだけで5千円以上はしてしまうからだ。最後にその他についてだ。親にはすごく感謝しているので職場の友をまねて仕送りをしたいし、お祝い金もしっかり用意したいのでこの計算だ。

| C 組 M.I. さんの計画家計簿 |                    |
|-------------------|--------------------|
| 項目                | 金額                 |
| 収入                | 330000 円           |
| 実支出<br>消費支出       | 食料 45000 円         |
|                   | 住居 53000 円         |
|                   | 光熱・水道 8000 円       |
|                   | 家具・家事用品 3000 円     |
|                   | 被服および履き物 20000 円   |
|                   | 保健医療費 4000 円       |
|                   | 交通・通信 21000 円      |
|                   | 教養娯楽 30000 円       |
|                   | その他の消費支出 25000 円   |
|                   | 税金、社会保険料など 54000 円 |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |                    |
| 67000 円           |                    |
| 収支計算              | 0 円                |

(※寸評:この作文は、「ある程度上質なものを食べていないと、健康被害が出て、医療費を引き上げてしまうことになりかねない」と、食が健康に直結していることを表現していることは評価できます。しかし、一人暮らしだから暑さ対策を扇風機で可能だとする根拠が分かりません。毎晩エアコンを使って快眠しても電気代は1か月で3,000円くらいしか増えないと思いますが、娯楽に30,000円も準備するのと、どちらが健康的ですか。なお、インターネット接続する場合は、Wi-Fi接続と有線接続で接続料金に差は出ません。)

C組M.N. まず、友達の結婚式に出席すると考える。そのためには、お金を貯めなければいけないので、外食をひかえたり、本やゲームなどは、少しがまんして生活する。食料については、外食をひかえるので少し多めにかかると考えて、50,000円。住居については、阪神間のワンルームマンションに住んでいるので55,000円。光熱水道は、この夏も猛暑でエアコンを多く使うと考える。また、家でご飯を作るのでいつもより多めに考えて、9000円とする。被服やはき物については、結婚式に行くので服が10,000円、くつが5000円と考え、残りは、仕事の服などに使う。交通・通信は、スマホの通信料、結婚式場に行く交通費で考え、仕事をしているので通勤手当が出ていると考える。教養娯楽は、いつもよりはがまんするけれど、10日間の夏休みに使うと考える。その他の消費支出は、結婚式のお祝い金や食事代の2万円を含めて3万円と考え、最後に、その他は、返済金の2万円、生命保険の1万円、毎月預貯金を5万円している。両親の仕送りはしないと決めて、合計80,000円と考える。

| C 組 M.N. さんの計画家計簿 |                 |          |
|-------------------|-----------------|----------|
| 項目                |                 | 金額       |
| 収入                | 収入              | 330000 円 |
|                   | 食料              | 50000 円  |
|                   | 住居              | 55000 円  |
|                   | 光熱・水道           | 9000 円   |
|                   | 家具・家事用品         | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物        | 20000 円  |
|                   | 保健医療費           | 4000 円   |
|                   | 交通・通信           | 15000 円  |
|                   | 教養娯楽            | 10000 円  |
|                   | その他の消費支出        | 30000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など      | 54000 円  |
|                   | その他の預貯金、借入金返済など | 80000 円  |
| 収支計算              |                 | 0 円      |

(※寸評:この作文の作者は、「外食をひかえ」て、自炊することを考え食料費を50,000円と設定しています。他の人よりもかなり現実的な食料費を考えることができていると言えるでしょう。エアコンの使用をふまえて、9,000円の光熱・水道費も現実的だと思います。特に、交通費を「通勤手当」が出ているとしているので、給与明細の学習した授業内容を理解していることも明確です。この作文のいい点は、「お祝い金」を2か月平均で考えずに1か月分で計算しているところです。)

C組Y.M. 食料にかかる費用は親友の結婚式の宴の会場の食事代を入れて65000円に設定した。なぜなら、ある程度の食事をとらないと、仕事にも影響が出て、来月の収入が減ることも考えられるからだ。住居にかかる費用は60000円に設定した。なぜなら、トイレ・風呂・エアコンが完備されていても、災害による被害を受けやすいと自分の命を守りにくいため、できる限り新しくて、しっかりとしたできるだけ条件の良い住居が欲しかったからだ。光熱・水道費は15000円に設定した。なぜなら、猛暑が続いている中で光熱・水道費具体的にはエアコン(冷房)代を節約してしまうと熱中症などの病気になってしまう可能性があるからだ。衣服にかかる費用は10000円に設定した。なぜなら結婚式にはある程度は身だしなみを整えるべきだと考えたからだ。交通・通信にかかる費用は25000に設定した。なぜなら、通勤や買い物には思っているよりお金がかかると思ったからだ。教養娯楽費は、20000円に設定した。なぜなら10連休は中々ないため、これくらいはかけるべきだと思ったからだ。その他の消費支出は20000円に設定した。これらをまとめてその他

| C 組 Y.M. さんの計画家計簿 |                 |          |
|-------------------|-----------------|----------|
| 項目                |                 | 金額       |
| 収入                | 収入              | 330000 円 |
|                   | 食料              | 65000 円  |
|                   | 住居              | 60000 円  |
|                   | 光熱・水道           | 15000 円  |
|                   | 家具・家事用品         | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物        | 10000 円  |
|                   | 保健医療費           | 4000 円   |
|                   | 交通・通信           | 25000 円  |
|                   | 教養娯楽            | 20000 円  |
|                   | その他の消費支出        | 20000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など      | 54000 円  |
|                   | その他の預貯金、借入金返済など | 54000 円  |
| 収支計算              |                 | 0 円      |

(※この作文は、ここで終わっている)。

(※寸評:この作文は途中で終わっていますが、お金の使い方の説明はほぼできています。食事が健康を支える基礎だと考えていることは分かります。残念なのは、友だちの結婚式に使うお金は「その他の支出」であり、食料費には組み入れないことを誤っていることです。住居にお金をかけたい理由も明確に書けています。この点は、他の作文には見当たらない、この作文の特徴です。)

## (2) 親友の結婚式に出席するための費用を確保してから家計簿全体を考える作文

A組Y.K. ぼくの一ヶ月の食費は、1日1290円ずつ使い、朝食に100円を、昼と夜に1190円使うため月4万円にしました。被服および履き物は、8月に結婚式の礼服に1万6千円と普段の服に7千円使うため2万3千円になり、9月は、一般の人と同じ金額を使うため、8月と9月の平均を1万5千円にしました。交通・通信は、職場まで自転車で行くため0円にし、スマホ代に1万6千円ぐらい必要なので月1万6千円にしました。その他の消費支出では、8月に結婚式のお祝い金として3万円と普段1万円使うため4万円にし、9月は一般の人と同じ1万8千円使うため、8月と9月の平均で2万9千円にしました。教養娯楽のお金をもう少しおさえて、貯金にまわしたいです。ぼくは、一人暮らしが自由で楽しそうだと思っていましたが案外大変だと思いました。

| A 組 Y.K. さんの計画家計簿 |            |          |
|-------------------|------------|----------|
| 項目                |            | 金額       |
| 収入                |            | 330000 円 |
| 実支出               | 食料         | 40000 円  |
|                   | 住居         | 50000 円  |
|                   | 光熱・水道      | 10000 円  |
|                   | 家具・家電用品    | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物   | 15000 円  |
|                   | 保健医療費      | 4000 円   |
|                   | 交通・通信      | 16000 円  |
|                   | 教養娯楽       | 20000 円  |
|                   | その他の消費支出   | 29000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |            | 89000 円  |
| 収支計算              |            | 0 円      |

(※寸評:この作文の作者は、食料費について細かに点検して計算していますが、節約することに焦点がいていて健康を維持する点や、自炊するのか、外食をするのかは不明です。ただ、外食をするすれば月半ばには資金が尽きてしまうでしょう。計算は2か月でトータル的に考えていることが明確に分かる説明文を書くことができます。最後の文章の「ぼくは、一人暮らしが自由で楽しそうだと思っていましたが案外大変だと思いました」は、実感がこもっていて説得力があります。)

C組Y.M. 生きていくためには食料が必要なので食料費は減らさないことにした。住居費は阪神間に住むと考えると少し安いかもしれないが、どれだけせまくても住む場所さえあれば良いと思ったので52000円にした。光熱・水道費は平均より700円ほど安い、節水・節約を心がければ7000円で足りると考えた。被服および履き物にけるお金は、結婚式に着ていく服や靴などを買うことを考え、15000円と高くした。でも、お金に余裕があるわけではないので、他の服は極力買わないようにする。交通・通信費はイメージしにくかったので平均と同じくらいにした。教養娯楽費が少ないのは、オーディオのローンを支払っているからだ。オーディオの購入は娯楽の一環だと考える。ローンを組まないといけなほど高い買い物をしたのだからしばらくは控えるべきだ。もう1つの理由は、結婚式関係のお金を用意するには、我慢すればどうにかなる教養娯楽費を減らせばよいと思ったからだ。その他の消費支出は結婚式のお祝い金である。宴の会場の食事代の2万円を返すのは常識だし、親友ということはより一層めでたい気持ちが強いのでさらに2万円を渡すことにした。この4万円は8月、9月の合計である。その他(預貯金、借入金返済など)の10万円は、ローンの返済に2万円、生命保険に1万円、預貯金に5万円、親への仕送りに2万円使うことにした。

| C 組 Y.M. さんの計画家計簿 |            |          |
|-------------------|------------|----------|
| 項目                |            | 金額       |
| 収入                |            | 330000 円 |
| 実支出               | 食料         | 41000 円  |
|                   | 住居         | 52000 円  |
|                   | 光熱・水道      | 7000 円   |
|                   | 家具・家電用品    | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物   | 15000 円  |
|                   | 保健医療費      | 4000 円   |
|                   | 交通・通信      | 27000 円  |
|                   | 教養娯楽       | 7000 円   |
|                   | その他の消費支出   | 20000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |            | 100000 円 |
| 収支計算              |            | 0 円      |

(※寸評:この作文の作者は「生きていくためには食料が必要なので食料費は減らさないことにした」として食料費に41,000円を割り当てていますが、全国平均よりも少ない食料費だと言うことを意識できていないようです。猛暑を乗り切ることを考えているとも読み取れない作文ですが、友だちの結婚式への対応についていねいに説明できています。また、2か月で計算していることも明確に説明できています。)

D組R.T. 私は表1のように計画をたてました。この金額のポイントは3つあります。1つ目は、無理なく減額したところです。食費は、できるだけ自炊して、外食を減らせば栄養や食事の回数をへらして減額する必要がなくなります。また休日などは図書館で本をかりた

り、録画したテレビなどをみれば、節約できると思います。2つ目は、結婚式には冠婚葬祭用のスーツをかいます。するとこれからの冠婚葬祭にも使えるし、自分の持っている服でコーディネートするよりもTPOをわきまえた服装にすることができます。有名某スーツ店では冠婚葬祭用スーツの値段は32000円でした。それに合わせるくつを10000円とします。私服代を合わせると月29000円使うことになります。3つ目は、その他の消費支出です。結婚式のお祝い金30000円とその食事代20000円、お祝いの品は30000円とすると計80000円です。また両親の家計を支えるために少ないですが月10000円送るとします。すると合計 月50000円使うことになります。以上が私の8月、9月の計画です。

(※寸評:この作文の作者は、友だちの結婚式への対応に80,000円の出費を計画しています。さらに、服装代を別に考えると、かなりの費用を友だちの結婚式のために予算を準備することになっています。それを「無理なく減額した」と言っていますが、かなり「むり」をしています。少しぐらいの外食を減らすだけでは食料費をおさえることはできないでしょう。ほとんど自炊しないと無理です。また、住居費を検討していませんが、かなり条件の悪い住宅環境にになります。スーツ代を実際に調べた点は評価できます。)

| D 組 R.T. さんの計画家計簿 |            |          |
|-------------------|------------|----------|
| 項目                |            | 金額       |
| 収入                |            | 330000 円 |
| 実支出               | 食料         | 35000 円  |
|                   | 住居         | 35000 円  |
|                   | 光熱・水道      | 8000 円   |
|                   | 家具・家事用品    | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物   | 29000 円  |
|                   | 保健医療費      | 4000 円   |
|                   | 交通・通信      | 27000 円  |
|                   | 教養娯楽       | 5000 円   |
|                   | その他の消費支出   | 50000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |            | 80000 円  |
| 収支計算              |            | 0 円      |

D組A.N. まず、結婚式関連は、お祝い金として3万円と宴の食事代で2万円なので、「その他の消費支出」は、5万円である。そして食料は、平均だと40000万くらいだが、これは男女合わせてなので、少し価格が低くても生活できる。住居費は阪神地区では最低の5万円である。そして、結婚式の服については、私が調べた所では、安い所だと女性用の服を4000円で売っていたので、結婚式の服は7000円くらいで抑えられる。そして普段服と合わせて、服・靴代は1万円である。交通・通信は、出勤の時には定期券を買うとして、バスと電車で約1万円で行けるはずである。教養娯楽の所は、本に3000円、少し遊びに行ったりや映画を見たりで1万円という計算だ。そして、光熱・水道の所は、夏で暑いのでクーラー代が少し高つくだろうという考えである。最後に「その他」の所は返済金で2万円、保険で1万円、預貯金で5万という内訳だ。ここで私は、親に仕送りするなら、預貯金の「貯金」の所をくずせば良いと思う。今月は特別な出費があるので、来月からまた貯金すれば良い。

(※寸評:この作文の作者は女子生徒なので、食料費は全国平均よりも少なくても足りると思いますが、その根拠を説明できていないとは言えません。また、結婚式への対応については、2か月でトータル的に考えれば良いのですが、その点に気づかず1か月分の出費で計算してしまっている点がおかしいです。なお、クーラー代を見落とさずに計算している点は評価できます。)

| D 組 A.N. さんの計画家計簿 |            |          |
|-------------------|------------|----------|
| 項目                |            | 金額       |
| 収入                |            | 330000 円 |
| 実支出               | 食料         | 37000 円  |
|                   | 住居         | 50000 円  |
|                   | 光熱・水道      | 9000 円   |
|                   | 家具・家事用品    | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物   | 10000 円  |
|                   | 保健医療費      | 4000 円   |
|                   | 交通・通信      | 20000 円  |
|                   | 教養娯楽       | 13000 円  |
|                   | その他の消費支出   | 50000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |            | 80000 円  |
| 収支計算              |            | 0 円      |

E組S.T. まず、今ローンで買っているオーディオの2万円と生命保険の1万円と預貯金をしている5万円の合計8万円がその他に書いてある。次に、友人から、7月末に手紙がきて、9月の秋分の日に結婚式を挙げるというので、お祝い金3万円と宴の会場の食事代の2万円を足して5万円がその他の支出に書いてある。結婚式に出るための服も買わないといけないので、1万5000円を被服および履き物に

| E 組 S.T. さんの計画家計簿 |            |          |
|-------------------|------------|----------|
| 項目                |            | 金額       |
| 収入                |            | 330000 円 |
| 実支出               | 食料         | 39000 円  |
|                   | 住居         | 50000 円  |
|                   | 光熱・水道      | 8000 円   |
|                   | 家具・家事用品    | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物   | 15000 円  |
|                   | 保健医療費      | 4000 円   |
|                   | 交通・通信      | 10000 円  |
|                   | 教養娯楽       | 17000 円  |
|                   | その他の消費支出   | 50000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |            | 80000 円  |
| 収支計算              |            | 0 円      |

書いてある。教養娯楽は、10日間の夏休みがあるので、その時の為に1万7000円。今は夏なのでエアコンをつけて寝たり、1人暮らしなので、お風呂はシャワーですませたりするので、合計で8000円ぐらい。その他の食費や、教養娯楽が少ない理由は、7月末に結婚式の招待状が届いて、挙げるのが9月の秋分の日なので、9月の給料日前だと思うので、8月の給料だけでやりくりしないといけないので、できるだけ、お昼はお弁当をつくったり、夜は自分でつくったりして、親友のために節約して暮らす。

(※寸評:預貯金などの金額の内訳を説明を先にしてから、消費支出の内容を説明する手順をとる作文です。自分が使えるお金を先に計算しようとする考え方を素直に表現している点が評価できます。ただ、結婚式への対応は2か月トータル的に考えれば良いことに気づかないために、厳しい家計簿になっています。)

### (3) 自分の趣味や娯楽の費用を確保してから家計簿全体を考える作文

A組M.A. まず食費は自分の趣味などにもお金を使うために節約し、43000円使うことにする。住居費は、スーモで西北付近を調べると、高価な所が多かったが、5万円の気に入った家があったので、管理費も含め55000円とする。光熱・水道費は、夏なのでエアコンを使うと考えて、9000円とする。被服および履き物に関してだが、結婚式のスーツを買わなければいけない。洋服の青山では上下セットで5万円弱するので、靴も合わせての60000万円を2回払いて払うと考えて月30000万円。僕は私服にはあまりこだわらないので5000円程でいい。なので、たして月35000円とする。交通・通信費は、オフィスビルが多い梅田で働いていると考え、西北～梅田の定期代が6ヶ月プランで月9000円。通信費はドコモのギガライトを使うので、月6000円。よって15000円とする。教育娯楽費は12000円でショアジギング用のロッドとルアーを買ってつりに行こうと思う。その他の消費支出には、結婚式の食費も含めたお祝い金で30000円。それは9月に払うので平均で月15000円。プラス、両親にほんの気持ちだが5000円の仕送りをするので月20000円とする。貯金50000円と、ローン返済20000円、生命保険料10000円で、その他を80000円。僕はこのような計画をたてる。

(※寸評:この作文は、教養娯楽費の確保を明確にしています。しかし、食料費も比較的無難な金額を確保できています。全体的にバランスの取れた家計簿の計画になっていると言えるでしょう。交通・通信費の計算もていねいしています。また、洋服の代金を実際に調べて計算している点は光ります。)

| A 組 M.A. さんの計画家計簿 |          |          |
|-------------------|----------|----------|
| 項目                |          | 金額       |
| 収入                |          | 330000 円 |
| 実支出               | 消費支出     |          |
|                   | 食料       | 43000 円  |
|                   | 住居       | 55000 円  |
|                   | 光熱・水道    | 9000 円   |
|                   | 家具・家事用品  | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物 | 35000 円  |
|                   | 保健医療費    | 4000 円   |
|                   | 交通・通信    | 15000 円  |
|                   | 教養娯楽     | 12000 円  |
|                   | その他の消費支出 | 20000 円  |
| 税金、社会保険料など        |          | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |          | 80000 円  |
| 収支計算              |          | 0 円      |

D組H.W. 食料費 … 私は食料費をおさえるために外食を控え、自炊をたくさんしようと考えている。また、仮に1日1本アイスクリーム(100円とする)を我慢するだけでも1ヶ月で3000円をおさえることができるから このような小さな努力を積み重ねて節約したい。光熱・水道費 … 平日は会社にいても、8月9月はとても暑いので、帰宅後や休日もずっとエアコンをつけっぱなしにするから平均的な光熱・水道代より高めにした。被服および履き物代 … 親友の結婚式の服とくつのため少し高めにした。最近安くても質の良い服が売られており、インターネットで調べてみると、1万円前後で買えるすてきな服はいくつもあった。しかし、服とくつ両方を買うとなるとそれでも高くなるため、8月9月分は結婚式用の服・くつ以外は買わないように心がける。教養娯楽 … 8月の10日間の夏休みに、LCCの1泊2日の旅行のプランを考えている。LCCだから2万

| D 組 H.W. さんの計画家計簿 |          |          |
|-------------------|----------|----------|
| 項目                |          | 金額       |
| 収入                |          | 330000 円 |
| 実支出               | 消費支出     |          |
|                   | 食料       | 39000 円  |
|                   | 住居       | 50000 円  |
|                   | 光熱・水道    | 9000 円   |
|                   | 家具・家事用品  | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物 | 11000 円  |
|                   | 保健医療費    | 4000 円   |
|                   | 交通・通信    | 22000 円  |
|                   | 教養娯楽     | 20000 円  |
|                   | その他の消費支出 | 38000 円  |
| 税金、社会保険料など        |          | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |          | 80000 円  |
| 収支計算              |          | 0 円      |

円程度で行けるため、楽しみながらも費用をおさえることができる。また、8月分は旅行で少し平均より高くなるから9月分は娯楽を控えるようにする。その他の消費支出では、結婚式のお祝い金代3万円と食事代2万円を払うため8月分の支出をおさえていきたい。預貯金は変わらずに2ヶ月とも5万円する。私は、必要なことを選択し、お金をかける分、それ以外の費用はおさえた8・9月の支出の計画にした。

(※寸評:この作文の作者は、教養娯楽費を無理せずに確保しながら、バランス良く消費支出を計画していると言えます。自炊することで食料費を39,000円におさえていますが、全国的な女性の平均値に近い金額で、阪神間の暮らしでも実現可能性が高い食料費です。また、エアコンの使用を前提に設定した光熱・水道費もほぼ現実的な金額になっています。かなり、事前に自分で調査したことが読み取れる作文です。)

E組M.M. 全国の女の人の1か月の食費の平均は35000円だった。私は多少は自炊する気があるので普段は3万ちょっとくらいで外食のために35000円にした。住居は調べてみても5万くらいするので5万にした。服や履き物は8月で休みがあるということで買い物に行くだろうから8月、9月で3万円くらいだと思ったので1か月15000にした。教養娯楽は夏休みがあるので旅行に行きたいと思い、調べると1泊か2泊くらいでお土産なども考えて6万くらいだった。また、他にもゲームやCDを買う可能性があるので8月、9月で7万円、1か月35000円になった。その他の消費支出は結婚式があるので食費代で2万円、お祝い金で3万円使う。また、結婚式に来ていく服はレンタルしようと思ったので服やバッグなど全部で2万円くらいになった。合計8、9月で7万円、1か月35000円になった。今回は夏休みや結婚式がかぶったのでその他は少ないが65000円になった。

| E 組 M.M. さんの計画家計簿 |            |          |
|-------------------|------------|----------|
| 項目                |            | 金額       |
| 収入                |            | 330000 円 |
| 実支出<br>消費支出       | 食料         | 35000 円  |
|                   | 住居         | 50000 円  |
|                   | 光熱・水道      | 8000 円   |
|                   | 家具・家事用品    | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物   | 15000 円  |
|                   | 保健医療費      | 4000 円   |
|                   | 交通・通信      | 26000 円  |
|                   | 教養娯楽       | 35000 円  |
|                   | その他の消費支出   | 35000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |            | 65000 円  |
| 収支計算              |            | 0 円      |

(※寸評:この作文の作者は「多少は自炊する気がある」として食料費を女性の全国平均よりも下げていますが、根拠としては弱いと言わざるを得ません。全国的に男性に比べて、女性のほうが自炊率が高いと考えることもできるからです。服装代などをレンタルで解決するのも一つの方法です。なお、働きながら自炊をするためには、相当な覚悟が必要です。その点の説明がないことが残念です。)

#### (4) 貯蓄をする金額を確保しながら家計簿全体を考える作文

B組N.T. 食料はたまに外食に行く程度にし、会社の付き合い以外では節約する。住居は阪神尼崎駅から15分程度のワンルームのアパートで約5万円の住居費だ。光熱・水道費は、エアコンをできるかぎり使わず窓を開けて過そうと思う。なぜなら、地球温暖化を止め、光熱費の節約にもなり、メリットが多いからだ。また、水の使い方も同じで、シャワー一時や流し物での使う量を青島キャンプで学んだことなどを活かして少しでも減らそうと思う。被服は、普段着を数着と結婚式に着ていく服をレンタルする費用(8千円)を合わせて2万円にした。結婚式に着ていく服を買うと今月の生活が成り立たないのでレンタルにした。交通・通信費は会社に行く電車代は会社の支払いとしてスマホの通信代を合わせて2万円にした。娯楽の面では2ヵ月間は少しがまんして過そうと思う。その他の消費支出では友人に2万円を渡し、9月は3万円、8月は1万円とし平均の2万円にした。その他では、親への仕送りもしようと思う。今回、実際考えてみて自分が将来どんな生活をするのか。またできるのかが少し分かって、もっと詳しく考えてみたいと思った。

| B 組 N.T. さんの計画家計簿 |            |          |
|-------------------|------------|----------|
| 項目                |            | 金額       |
| 収入                |            | 330000 円 |
| 実支出<br>消費支出       | 食料         | 40000 円  |
|                   | 住居         | 50000 円  |
|                   | 光熱・水道      | 5000 円   |
|                   | 家具・家事用品    | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物   | 20000 円  |
|                   | 保健医療費      | 4000 円   |
|                   | 交通・通信      | 20000 円  |
|                   | 教養娯楽       | 10000 円  |
|                   | その他の消費支出   | 20000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |            | 104000 円 |
| 収支計算              |            | 0 円      |

(※寸評:地球温暖化対策のためにエアコンをできるだけ使わないで、窓を開けて真夏を過ごす計画は実行可能でしょうか。特に、都市熱の高い尼崎ではかなり厳しいと思います。仮に昼間はエアコンの使い方をセーブしても、夜間にエアコンを使わないのは熱中症にかかる危険性を高めます。5,000円の光熱・水道費であれば、夜間にエアコンを使うことができるでしょう。もう少し、現実的な考え方をしたいです。)

E組 H.S. まず、友人の結婚式関連について考える。宴の会場の食事代として2万円とお祝い金の1万円を合わせて3万円を友人に渡す。8月と9月の平均なのでその他の消費支出が15000円になる。結婚式に着ていく服・かばん・くつは、レンタルの方が安い今後このような結婚式に行く機会が増えるという可能性を考えると購入した方が良さそうである。だから、服・かばん・くつを合わせて30000円くらいで買う。普段の被服および履き物の支出をできるだけおさえて、5000円にも30000円の半分と合わせて20000円が被服・履き物代になる。結婚式関連の支出は合わせて60000円だ。8・9月の使うお金をできるだけ減らし、60000円を浮かせられるようにする。そのための工夫として、会社にはお弁当を持参して食費を減らし、住居は阪神間は高いが最低限の防犯があるところにする。光熱費も減らしたいが真夏の暑い時期にクーラーなしでは体をこわしそうなのでできるかぎりのことをして節約する。通信料は格安スマホは月額1980円であるのでそちらに切り替える。教養娯楽費を減らすため会社に夏休みがあるが、旅行などのイベントは控え、家で読書をして過ごす。また、27才のときは父は66才だが自営業なのでまだ働いていて、年金暮らしはしていないと思うので、仕送りは必要ないと思う。しかし、今後のために自分としては別に両親の分も貯金しておこうと思う。このような理由で支出の計画は上の表ようになった。

(※寸評:この作文は貯蓄することを優先して、今の生活をできる限り質素に暮らそうとする家計簿の計画になっています。住居についてもていねいに検討していますし、クーラー使用にかかる費用も考慮しています。友だちの結婚式への対応についても堅実な計画を立てることができていると思います。ただ、自炊、さらに昼食の弁当を作る余裕はあるのかという点は、実際に実行可能なかどうか疑問が残ります。)

| E 組 H.S. さんの計画家計簿 |            |          |
|-------------------|------------|----------|
| 項目                |            | 金額       |
| 収入                |            | 330000 円 |
| 実支出               | 食料         | 35000 円  |
|                   | 住居         | 60000 円  |
|                   | 光熱・水道      | 7000 円   |
|                   | 家具・家事用品    | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物   | 20000 円  |
|                   | 保健医療費      | 4000 円   |
|                   | 交通・通信      | 10000 円  |
|                   | 教養娯楽       | 10000 円  |
|                   | その他の消費支出   | 15000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |            | 112000 円 |
| 収支計算              |            | 0 円      |

F組 I.I. まず、食料は自炊します。自炊はお金が大幅にへるし、健康にもいいので、病気にもかかりにくく、保健医療費もへるので、とてもいいです。自炊する時は業務スーパーなど安い店なるべくお金のかからないように食材います。またお昼は自分で作ったお弁当をもっていくので、お昼ごはんにお金はかかりません。住居は図2よりも少し高めの40000です。住居は阪神間よりちょっと安いです。光熱・水道は熱中症になっても困るので、おしみなく使います。被服および履き物は、結婚式に参加する予定なので、結婚式の服装を洋服の青山などで(できればセールのときに)1万円以内でおさめます。交通・通信はそのまま表2と同じです。教養娯楽は図書館などにいったり、入館料無料の博物館などに行って、少しでもお金をへらします。残りは本を買う時に使います。また、その他の消費支出では、お祝い金は30000円わたします。親にきいた所、お祝い金をわたすと、ごはん代などははらわなくてOKだそうです。そして残りが11万5千円になりました。

(※寸評:この作文では、結婚式への対応について保護者に聞いているという点を評価できます。ただ、1万円以下でスーツを買えるかどうかは疑問があります。なお、自炊だから健康に良いとは限りません。栄養管理面での知識があることが前提の話ですから。また、健康を維持するためには、安い食材ではなく、品質の良い食材を選択するべきだと一般的には考えられますが、その点はどうか。)

| F 組 I.I. さんの計画家計簿 |            |          |
|-------------------|------------|----------|
| 項目                |            | 金額       |
| 収入                |            | 330000 円 |
| 実支出               | 食料         | 30000 円  |
|                   | 住居         | 35000 円  |
|                   | 光熱・水道      | 9000 円   |
|                   | 家具・家事用品    | 3000 円   |
|                   | 被服および履き物   | 12000 円  |
|                   | 保健医療費      | 4000 円   |
|                   | 交通・通信      | 27000 円  |
|                   | 教養娯楽       | 10000 円  |
|                   | その他の消費支出   | 31000 円  |
|                   | 税金、社会保険料など | 54000 円  |
| その他(預貯金、借入金返済など)  |            | 115000 円 |
| 収支計算              |            | 0 円      |